

令和6年10月22日(火)に、諫早市立たらみ図書館で、秋季研修会を開催しました。

当日は、幼保認こ24名、小学校37名、中学校3名、高等学校6名、特別支援学校16名、大学生2名、事務局関係者7名、合計95名の先生方が参加されました。本号では、秋季研修会の講演内容について報告します。



## 令和6年度長崎県特別支援教育研究会秋季研修会報告

### 演題：「特別な支援が必要な子どもたちの発達を促すための指導・支援～感覚の問題への対応～」

講師：長崎大学生命医科学域（保健学系） 徳永瑛子先生

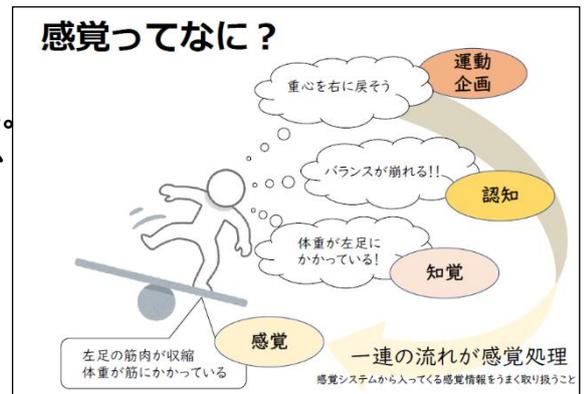


#### 開会に当たって（会長：分藤賢之）

特別支援の専門性として、子供たちの乳幼児からの発達、特に感覚・運動、知覚・認知、教科の学習の概念については、教員人生の中でたたくこまれていくものである。今日は、それらに係る感覚の問題への対応について、自立活動等に関連させて話をさせていただく。組織で学び合う姿勢をもって、園や学校での実践に結び付けてほしい。

#### 感覚ってなに？

○感覚、知覚、認知、運動企画というその一連の流れが感覚処理である。感覚システムから入ってくる感覚情報をうまく取り扱い、生活に生かすことができるようにする。

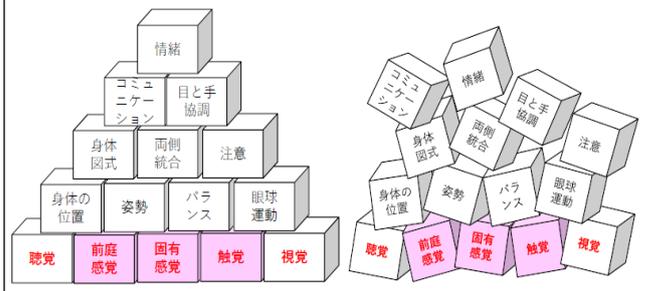


#### 感覚統合のプロセス

○前庭覚（重力と動き）、固有受容覚（筋肉と関節）、触覚が感覚統合においてメインの感覚となる。姿勢が安定することで着席行動ができるようになり、学習にも集中できるようになる。

### 感覚と発達の課題

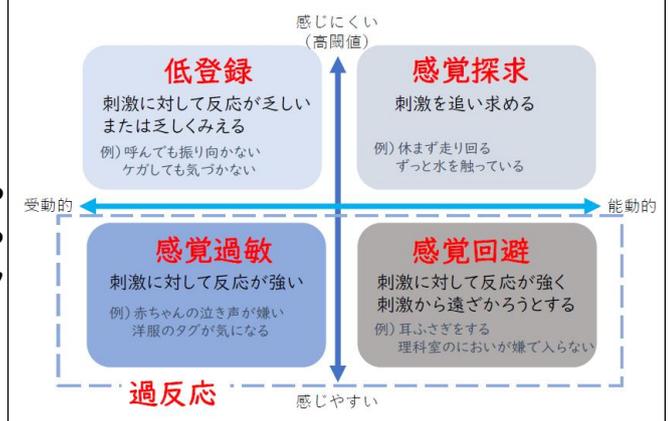
ベースが不安定だと・・・  
一見うまくいっているようで高次の機能がうまく積みあがらない



#### 感覚処理の問題とは？

○感覚への反応異常である感覚調整障害と感覚識別の問題であるプラクシスの障害がある。問題が情緒や行動へ結び付いている状態が、感覚調整障害であり、運動や学習に生じる状態がプラクシスの障害である。

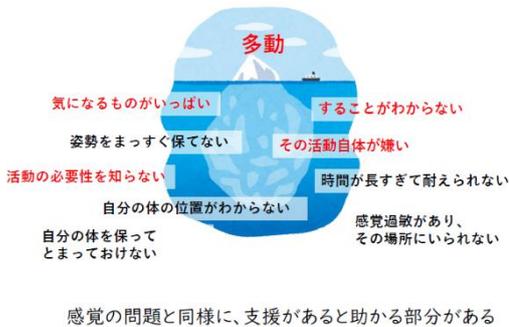
### 感覚調整障害のタイプ



## 刺激をコミュニケーションに活かす)

○人への自発的な関わりが出ることが言葉の獲得や発達につながる。そのため、人との二項関係や三項関係が取れる感覚遊びが有効である。好きな感覚刺激をタイミングよく大人が与えることで人へ意識が向くようになる。

## 感覚と発達の課題



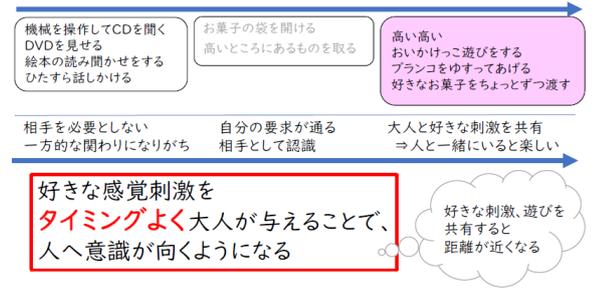
## 支援の方向性の変化

- ボトムアップアプローチ…低年齢のうち、特に有効である。楽しく刺激を処理できるようになると自発的に働き掛けられるようになる。
- トップダウンアプローチ…本人の感覚処理の特性に合わせ、物理的・人的環境を検討し問題解決ができるので、少年期から青年期以降にこのアプローチ方法に移行すると有効な場合がある。

## 刺激をコミュニケーションに活かす

人へ自発的なかわりが出ることがことばにつながる

人との二項関係、三項関係が取れる感覚遊びが有効



## 学校でできそうな感覚の入力

○触覚の遊び（オーガンジー遊び、マッサージ）、前庭覚の遊び（抱っこ遊び、毛布ブランコ等）、固有覚の遊び（圧迫遊び、引き起こし遊び等）

## 不安をカバーする環境設定

- 特性があっても読み取りやすい環境や苦手な環境をカバーする環境が大切である。不安要素を消すことで、感覚の問題が出現しにくくなる。
- ①（最初は）いつも同じ環境
- ②何をすればいいのか分かる環境
- ③自分でできる環境

## 子供のどこを褒めたらいいの？

○褒めるとは、①行動の頻度を増やす、②行動にモチベーションを与えるものである。自立とは、①社会的に認められる、②当たり前前の行動ができることである。

## 【質疑応答】

質問		徳永先生の回答
○できない部分を褒めるときに意識すること	⇒	・具体的に伝える。何を、どれくらいか等、変容を伝える。気持ちや言動の良かった点を伝える。
○子供の喜ぶ褒め方とは？	⇒	・ちょっとした報酬を生活のあちこちで準備しておくことは有効である。
○授業中に姿勢などを注意するべきか？	⇒	・本分ができていれば見逃してもよい。ただ、姿勢を正そうとする意識は大事であるので、最初と最後だけは頑張る等から始めるとよい。
○苦手な感覚への対応は？	⇒	・まずは、自己理解をさせて逃げる方法を教える。「きつい」と伝える方法を教える。
○負けることを極端に嫌がる場合は？	⇒	・負けに浸らせないことが大事である。じゃんけんなど、勝ち負けを繰り返す活動や負けたけど次は勝てるような活動を行うとよい。

## 学校でできそうな感覚の入力



編集  
後記



今回の研修では、感覚統合の理論や感覚の問題への対応を実際の取組を交えて分かりやすく学ぶことができました。当日参加できなかった先生方にも、研修の内容が伝わりましたら幸いです。